

令和5年5月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

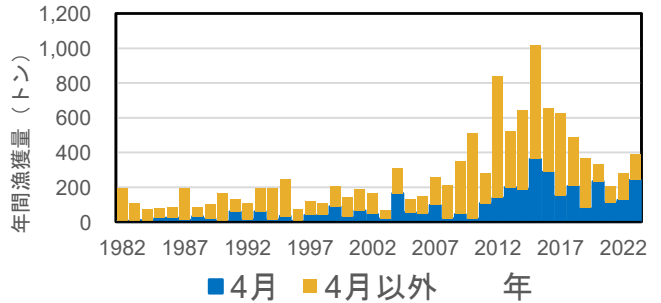
定置網にブリ・ワラサ大量入網

伊豆東岸地区の定置網でブリが大量に水揚げされています。漁獲されているブリは、銘柄ぶり、わらさが主体です。

3月中旬頃から網に入り始め、4月上旬にピークを迎え、1日あたりの水揚げ量が40トンを超える日もありました。その後一旦落ち着きましたが、中旬からまた銘柄わらさ主体で水揚げが続いています。4月の漁獲量は4月20日時点で243トンと過去最高を記録した2015年に迫る量となっています。

伊豆東岸地区の定置網におけるブリの年間漁獲量は、2015年に1,015トンとなったのをピークに減少傾向が続いていましたが、今年は1月から4月20日までで389トンと、既に昨年度の年間漁獲量を上回っています。

今後の好漁が期待されます。



伊豆東岸地区定置網におけるブリの漁獲量(上)と水揚げされたブリ(下)

分場前浜でカジメ幼体を確認

磯焼けによって、カジメ群落が形成されていた白浜でも、昨年夏にカジメが消失してしまいました。今後の動向が心配でしたが、4月の干潮時に分場前の磯を観察したところ、20~30cmのカジメ幼体を多数確認しました。3月の潜水調査では、白浜の調査点(砥川浦、高根)で幼体の着生を確認しています。

以前のような大型カジメはありませんが、漁業者の話を含め、白浜以外でも幼体の着生が確認されている地区があります。

今後、幼体が順調に生育し、再び豊かなカジメ群落が構成されることを願っています。



↑白浜、高根で確認されたカジメの様子

ヒレジロマンザイウオ

伊豆東岸沖漁場ではキンメダイの立て縄釣りが行われており、キンメダイを狙って操業していますが、サバ、ムツ、メダイなども混獲されることがあります。今回は「ヒレジロマンザイウオ」とみられる魚が混獲されました。

漁業者によると、3月31日に操業していたところ、水深530~550mで針にかかったようです。また、この漁業者は今までこのような魚を混獲したことはなく、周りの漁業者に聞いても見たことがないとのことで、伊豆東岸のキンメダイ立て縄釣りで混獲されるのは珍しいと考えられます。



↑ヒレジロマンザイウオとみられる魚
(尾叉長:57cm、体重:5.4kg)

5月の予定 ●キンメダイ親魚採捕 ●アワビ測定 ●カジメ潜水調査(伊東) ●県漁業士会役員会(12日)
●ヒラメ放流(熱海:18日) ●静岡県定置漁業協会通常総会(19日) ●カサゴ放流(田子:19日) ●伊豆地栽培漁業推進協議会(22日)

連絡先: 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話: 0558-22-0835

アドレス: suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ: <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。